

た か は ぎ

2016.8
No.140

議会だより



平成28年第2回定例会

会期 6月3日～6月15日

議案に対する質疑……………	3
委員会審査報告……………	4
市政に対する一般質問……………	5

高萩海水浴場 海開き

平成 28 年第 2 回定例会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
報告第 2 号	専決処分の承認を求めることについて (高萩市市税条例等の一部を改正する条例の制定について)	地方税法等の一部改正に伴い、わがまち特例の導入、省エネ改修工事費要件の変更等を行ったことを報告するもの。	原案承認
報告第 3 号	専決処分の承認を求めることについて (高萩市都市計画税条例の一部改正について)	地方税法等の一部改正に伴い、引用条項のずれ等所要の文言の整備を行ったことを報告するもの。	原案承認
報告第 4 号	専決処分の承認を求めることについて (高萩市国民健康保険税条例の一部改正について)	地方税法等の一部改正に伴い、課税限度額及び軽減判定所得の見直し等を行ったことを報告するもの。	原案承認
報告第 5 号	専決処分の承認を求めることについて (平成 27 年度高萩市一般会計補正予算(第 6 号))	歳入歳出それぞれ 1,296 万円減額したことを報告するもの。内容は創業支援事業経費の減額等。	原案承認
報告第 6 号	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	損害賠償及び和解のうち、50 万円以下の専決事項について報告するもの。	—
報告第 7 号	平成 27 年度高萩市一般会計予算継続費繰越計算書について	本庁舎災害復旧事業の翌年度繰越額を報告するもの。	—
報告第 8 号	平成 27 年度高萩市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	津波避難東西連結道路(高萩陸橋)整備事業他 9 事業の翌年度繰越額を報告するもの。	—
報告第 9 号	平成 27 年度高萩市水道事業会計予算繰越計算書について	建設改良費の繰越額及び事故繰越額について報告するもの。	—
報告第 10 号	平成 27 年度高萩市工業用水道事業会計予算繰越計算書について	建設改良費の繰越額及び事故繰越額について報告するもの。	—
議案第 27 号	高萩市立学校設置条例の一部改正について	君田小学校及び君田中学校を平成 29 年 3 月 31 日をもって閉校するもの。	原案可決
議案第 28 号	高萩市民球場改修工事請負契約の締結について	高萩市民球場改修工事請負契約を締結するもの。(契約金額 4 億 3,740 万円)	原案可決
議案第 29 号	訴訟上の和解について	損害賠償及び和解のうち、50 万円を超える事件について議決するもの。	原案可決
議案第 30 号	平成 28 年度高萩市一般会計補正予算(第 1 号)	歳入歳出に 8,510 万 9 千円を追加するもの。内容は小中学校トイレ改修事業等。	原案可決
	議員の派遣について	タブレット端末を用いた議会運営について、全議員で先進地の視察研修を行うもの。	原案可決
	議員の派遣について	本庁舎再建(災害復旧)工事の進捗状況について、全議員で視察を行うもの。	原案可決

請願・陳情の審議結果

件名	結果
「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書提出に関する請願	継続審査

議案質疑

議案第27号 高秋市立学校設置条例の一部改正について

飯田 毅昭 議員

質問 君田小・中学校並びに松岡小中学校の統廃合について伺う。

教育部長 近年の君田小・中学校の児童生徒の急激な減少により、国の定める教員の適正配置ができない状況となり、子どもたちにより良い教育環境を整えることが大切であると考え、松岡小・中学校とそれぞれ統合することが適切と苦渋の決断をしました。

平成20年の県教育委員会の指針や「高秋市のよりよい教育環境あり方委員会」の答申を受け、平成21年より平成26年度までに保護者、地区住民等との協議を重ね、また、改めて昨年11月以降に保護者懇談会を3回、地区代表者懇談会を2回、地区住民説明会を2回行い理解を得てきました。

統廃合に係る問題点への今後の対応は、現在保護者と協議し、その骨子は通学方法、児童生徒の不安解消、学用品の支給等についてであり、これらについては、今後とも保護者懇談会を積極的に行い、児童生徒が安心して松岡小・中学

校に通学できるベースづくりを行ってまいります。

報告第5号 専決処分の承認を求めることについて（平成27年度高秋市一般会計補正予算（第6号））

大足 光司 議員

質問 創業支援事業経費（地方創生加速化交付金分）のうち創業支援アドバイス委託料の皆減理由について。

地方創生政策担当部長 地方創生加速化交付金については創業支援事業を初め4事業申請し、3事業が採択、1事業が不採択となりました。創業支援事業経費のうち創業支援アドバイス委託料は交付対象外とされたため、予算全額を減額しております。専門家のアドバイスを受けずに実施することになります。関係機関との連携を一層密にし、効果的に事業を執行してまいります。

議案第30号 平成28年度高秋市一般会計補正予算（第1号）

大足 光司 議員

質問 市道1781号線道路舗装工事請負費について。

産業建設部長 今回、高戸前浜海岸は9月17日から65日間にわたり開催される、茨城県北芸術祭の展示会場に選定され、当該開場へも

普通車は勿論のこと、多数の大型バスの来場も予想されるため、現在の路面状況では通行に支障となることから、通行上の安全を確保するため工事を行ないます。工事は全面通行止め、午前8時から午後5時までとする方向で検討しています。夏のイベント等、ビーチバレー等会場準備も含め調整を図り7月16日、18日は駐車料金を無料といたします。

議案第28号 高秋市民球場改修工事請負契約の締結について

菊地 正芳 議員

質問 契約の入札方法、工事内容、工事の期間について伺う。

教育部長 入札は指名競争入札です。工事内容は、メインスタンド耐震補強工事。内野グラウンド舗装、外野グラウンドの高麗芝生張り替え工事。既存のメイン、サブスコアボードの撤去、電光掲示板の新設工事。内野スタンドの既存コンクリート床及びブロック腰かけ解体撤去、ベンチの新設工事。ラバーフェンスの撤去張り替え工事。球場内外の排水整備、土保管庫建築工事を予定。工事期間は今議会の議決の翌日から、平成29年3月15日までとしております。

質問 市民球場のアスベストは現時点でどのような対応になっているのか。

教育部長 平成元年2月にアスベスト封じ込め工事を施工しました。施工後は、良好で安全な状態が保たれています。今回はアスベスト封じ込め部分についての工事は行いません。今後は、定期的な点検などを行い安全確保に努めてまいります。



高秋市民球場

総務産業委員会

6月13日、当委員会に付託された議案4件の審査を行った。

○平成27年度高萩市一般会計補正予算(第6号)

問 地方創生加速化交付金事業として4事業を申請したが、1事業が不採択とのこと、その理由を伺う。

答 不採択となりましたのは、ラピッドカー運用・連携事業です。日立市及び北茨城市と共同申請したラピッドカー運用・連携事業につきましても、本事業は救急救命に資する事業ではありますが、政策間連携等の点で加速化交付金の採択基準に達していると判断されなかったのが、不採択となった理由と考えております。

○平成28年度高萩市一般会計補正予算(第1号)

問 市道舗装改良工事で、河川敷には工作物等は設置できないのは認識しているが、転落防止等の考えについて伺う。

答 ガードレール等の転落防止柵につきましても、地中に打ち込むという作業ができないということなので、代替としてガイドポスト、ポストコーンの赤と光るもの等を最終的につけられるように、管



高戸前浜への進入道路

理者である高萩工事事務所と最終調整を図っています。

問 土木費の市道舗装改良事業で、6月に補正を組むのは早いのでは?その理由を伺う。

答 茨城県北芸術祭の決定を知らされたのが、年度に入ってからで、今年度の当初予算、11月12月の時点ではそういった情報は来ていませんでした。また、芸術祭の場所の最終決定が今年度に入ってからなので、28年度の当初予算には入れられませんでした。

文教厚生委員会

6月10日、当委員会に付託された議案5件の審査を行った。

○高萩市立学校設置条例の一部改正について

問 君田小中学校の今後の活用をどのように考えているのか伺う。

答 閉校後の跡地利用につきましては、市長部局の関係部局で組織を作りまして、今後協議を進めていく予定となっております。

○訴訟上の和解について

問 和解案が出るまでの経過について伺う。

答 平成27年6月3日の第一回口頭弁論を皮切りに、今年4月27日までに7回の口頭弁論が行われ、さらに1回の証人尋問が行われております。第7回の口頭弁論におきまして、裁判所の和解案が示されたところです。なお、今回議決をいただければ、次回7月13日の口頭弁論におきまして、和解が成立する見込みとなっております。

○平成28年度高萩市一般会計補正予算(第1号)

問 訪問型家庭教育支援事業経費200万円について伺う。

答 事業は、文部科学省が進める事業でございます。本年2月に公募の通知がありました。本市が応募



君田小・中学校

募いたしまして採択されたものでございます。さまざまな問題により主体的な家庭教育が困難となっている家庭に、地域人材を活用した家庭教育支援チームが支援を届け、家庭の孤立化を防ぎ、家庭教育に関わる問題の発生予防や、早期発見につなげ、子どもの育ちや家庭を支えていくことが目的となっております。財源につきましては、県からの委託金200万円となっております。



渡辺悦夫 議員

市内にある2か所の ダムの有効活用について

質問 市内にある2ヶ所のダムを今後どのように活用していくかが、山手観光の将来につながるものであり、ダム周辺の観光について、どのような考えをしているのかお伺いします。

産業建設部長 茨城県とダム堰堤開放について、協議してまいりたいと考えております。小山ダム周辺環境整備事業により設置された親水施設、釣り堀等は、施設管理者である横川観光組合とともに、茨城県と協議してまいります。小山ダムも花貫ダムも観光資源として有望であると認識しており、観光への有効利用について、協議、検討してまいりたいと考えております。

ダムの堰堤開放に伴う 人件費等の経費について

質問 堰堤開放に伴う人件費等の経費、例えば、シルバー人材等から派遣してもらった場合、どのぐらいの予算が必要なのか、お伺いします。



花貫ダム

産業建設部長 花貫ダム堰堤の開放に伴い、高萩市シルバー人材センターに安全管理を依頼した場合の費用についてですが、派遣人数を2人として算出いたしますと、1日当たり1万960円となります。土日、祝日を委託すると1年間で約130万円となります。

地域と連携したダムの
観光資源としての
有効活用について

要望 ダムの活用については、国においてもダムのツーリズム等を推奨しており、今後早急に県と協議しながら、花貫ダムの堤体の開放を進め、地域との連携による小山ダムの周遊、釣り堀施設等の運用を進め、ダムを地域資源としての有効活用をし、収益性のあるダムの利活用をお願いしまして、今回の質問を終わりにします。



寺岡七郎 議員

観光協会の法人化 について

質問 観光協会は極めて大きな役割を果たしてきたと思います。今後法人化を検討していると聞いておりますが、何点が質問します。

第一点に、法人化のメリットは。第二点に、どのような形態の法人化を考えているのか。第三点に、観光協会の果たしている26年度の経済効果は。第四点に、観光協会の行っている事業の収益事業の割合は。

産業建設部長 まず、一点目の法人化のメリットについては、法人名義の銀行口座開設や法人名での契約が可能となることや、不動産、車などの資産を法人名義で取得が可能となります。代表者が変わった場合でも、銀行口座の名義人変更や契約変更が不要になることなどが考えられます。

二点目の法人の形態ですが、法人には、一般社団法人、一般財団法人、株式会社、NPO法人等があります。法人設立の目的や、今後の事業の展開に照らし、観光協会において検討されるものと思

ます。

三点目の経済効果については、経済効果を把握することは、非常に困難ではありますが、観光協会が主催する紅葉まつりに昨年度実績で7万2000人、高萩まつりに4万人、また海水浴場に約1万人ほど多数の観光客が訪れたことを考えれば、経済効果は大きなものであると考えております。

四点目の公共事業、収益事業の割合は仕訳けされておりませんが、これらの割合を算定することは非常に困難であります。



高萩海水浴場 海開き



我妻康伸 議員

安全安心な
まちづくりについて

防災教育について

質問 秋山中学校における防災に関する実践的安全教育総合支援事業について実施内容をお知らせ願います。

教育部長 本事業は、児童生徒などの防災に対する意識の向上を図るため、東日本大震災の教訓を踏まえた防災に関する指導方法などの開発、普及を行うとともに、地域の防災関係機関との連携体制を構築し、強化することを目的として、平成24年度からスタートした文部科学省の委託事業でございます。

質問 地域の方々と保護者と生徒が一緒になって取り組むことが大切であると思います。このような訓練をぜひ他の中学校、あるいは小学校でも実施したらよいと思いますが、いかがでしょうか。

市長 秋山中学校で行った事業を今年度も小中学校それぞれ各1校の事業実施を県に要望しているところでありますので事業採択を県に強く働きかけてまいります。



秋山中学校 防災訓練

質問 児童生徒に対する防災教育はもとより、市民に対する防災啓発の徹底が重要と思います。今後どのように取り組んでいくのか、お聞かせください。

市長 市民の防災に関する理解と意識の高揚を図ることを目的とする各種防災訓練を実施するとともに、地域の防災リーダーである防災士の養成や市報並びに市のホームページによる広報、学校での防災教育の実施など、今後さまざまな防災に関する事業や防災啓発に取り組んでまいりたいと考えております。



大森要二 議員

市長の政治姿勢
について

公職選挙法の寄附の禁止について

質問 市長は特産品開発事業である酒製造「真心一魂」が、予定より多く出来たので自ら買い取り、市長のイラスト入り限定酒を造ったことを聞いている。その限定酒を今年4月の市職員人事異動に伴う歓送迎会(教育委員会他五部局)に配って、宴会の席で市長が自費で造った酒であることや、市長からの差し入れである旨を市職員が説明し、皆に飲んで貰ったのは事実か。事実であれば公職選挙法第一九九条の二、公職の候補者等の寄附の禁止に抵触する。市長自らのイラスト入りボトルを造ろうとした目的と職員の歓送迎会時に配ろうとした経緯を伺う。

市長 試飲酒「真心一魂」と同じ製法で製造した日本酒を酒造会社から私が自費で購入し、市役所の各部署で行われた職員の歓送迎会の席に試飲用として各課に七二〇ml瓶を一本ずつ、計24本を配付した。歓送迎会時に試飲用として日本酒を提供したことは地場産業を

活性化するため、本市の特産品を職員に認識させることが目的である。したがって、試飲は地場産業の育成の為であり、いささかも個人ののために行った行為ではなく、寄附には当たらず、違法性は全くないと理解している。さらにラベルに私のイラストを使ったのは、現在においてトップセールスは最大の武器である。自分で買ったものに似顔絵のラベルを張り、販路を拡大するために使ったことは全く問題のないものと考えてる。



試飲酒





平 正三 議員

ごみ処理問題について

質問 可燃ごみ処理問題が20年間未解決のままになっており、高萩市政の重大な課題となっている。可燃ごみ処理をどのように進めていくのか。

市長 広域化を念頭に一般廃棄物処理基本計画を策定していきたい。

質問 広域処理にこだわらず単独処理を含め検討すべきである。プラスチック類の資源化と生ごみの堆肥化を検討すべきである。

市民生活部長 今後調査検討していきたい。

防犯灯の維持管理について

質問 常会加入世帯が減少し、防犯灯の維持管理が難しくなっている。維持管理が困難な防犯灯は市が管理すべきである。

総務部長 市では常会等の負担軽減のため、本年4月から防犯灯補助金の拡充を行い、当面、引き続き常会等で維持管理していただきたいと考えておりますが、地域コミュニティ活動活性化委員会の中で、今後の防犯灯維持管理の在り方を検討していきます。

緊急告知FMラジオ 設置について

質問 情報伝達手段として、緊急告知FMラジオを全世帯に設置すべきである。導入できない理由は何か。

市長 全世帯設置には受信困難地域への対応、財源の確保など課題があり、現段階では考えていません。

小学校へのエアコン 設置について

質問 普通教室の室温調査をして、エアコン設置を検討すべきである。

教育部長 この夏、各校で室温調査を実施し、エアコン設置の必要性を精査していきたい。



高萩市リサイクルセンター



今川敏宏 議員

高萩創生について

質問 人口減少対策、少子化対策、高齢者対策として二つ提案します。一つはふるさと回帰、Uターンの動機付けや婚活、仕事の交流にもなる同窓会ですが、その開催支援事業を実施してはどうでしょうか？二つ目は高齢者の生きがいづくりと祖父母による子育て支援につながるもので、「はぎハピ」の拡充策として「祖父母手帳」の発行を提案します。

地方創生政策担当部長 同窓会開催支援事業は他自治体の効果等を調査研究してまいります。

健康福祉部長 「祖父母手帳」については、他の自治体の取り組みを調査検討してまいります。

質問 本年3月、国土交通省は「新たな首都圏広域地方計画」を発表しました。この動きに乗り遅れないように調査研究し、高萩創生に繋がるようしてください。

地方創生政策担当部長 東京圏の自治体との連携交流事業は、地域に活力をもたらすとともに、現在取り組みを進めている移住施策の観点からも、今後一層重要になると認識しています。各事業を進め

る中で調査研究してまいります。

質問 交流人口が増え、さらに経済効果を上げるには宿泊所づくりが欠かせませんが、その単純にはつくれません。そこでキャンプ場や海水浴場の駐車場をオートキャンプ場や単なる車中泊場に活用できないでしょうか？

地方創生政策担当部長 車中泊には、騒音、ごみ投棄、長期占有など問題を引き起こす恐れがありますので考えていません。



グリーンタウンつな 消波ブロックヤードと太陽光発電施設

その他の質問

- グリーンタウンつな 防災運動公園について
- 太陽光発電について
- 高萩市地域防災計画について



坪和久男 議員

少子化対策の 婚活支援について

質問 ①ハッピーサポート事業の活動内容とこれまでの実績についてお伺いします。②事業をさらに充実させるために、婚活支援に協力していただける企業にサポーターの設置を提案します。

産業建設部長 ①ハッピーサポート事業は、少子化対策の一環として、独身男女の出会いの場を創出する事業でこれまで平成26年からイベントを5回開催し、実績は、参加者が、男性71名、女性74名、計145名、カップル数は30組となり、4割を超えるカップリングとなっております。②企業サポーターの設置を市内企業に働きかけてまいりたい。企業サポーターの皆様には、地域における世話役として茨城県のマリッジサポーターへの登録をお願いしてまいりたい。

子供たちの 教育環境等について

質問 ①学校の教室は、安全で快適な学習空間であるべきと考えますので、小・中学校、幼稚園の教

室内及び職員室の環境基準(温度、照度、騒音)について基準値及びその測定結果をお伺いします。

②今年も猛暑が予想されますが、熱中症対策は十分でしょうか?

教育部長 ①昨年度は年1回測定しており、学校ごとに測定日時は異なっております。結果は、温度は全ての小・中学校で基準をクリアしております。照度は、1か所が下限値である300ルクスを下回っていたことから、速やかに改善を図りました。

教育長 ②教室のエアコンの設置または扇風機の設置に関しましては、本年度改めて室温調査を実施し、その評価をした上で精査をしてまいりたいと思います。



高萩市内小学校



菊地正芳 議員

消防行政について

質問 バイスタンダーが救急現場で応急手当をした際に、一生に一度あるかないかの体験にショックを受け、その後、心的ストレスに悩むケースがふえてきている、いざというときに安心して応急手当を行えるよう先進地ではバイスタンダーに対してストレスをサポーターするために独自に作成した連絡カードを配布し体制が出来ている。本市としても取り組むべきと思うが見解を伺う。

消防長 フォローを充実させる方法を検討して参ります。

質問 全国消防協会において、既存の消防業務賠償責任保険にバイスタンダー補償を付帯することが決定した。この制度に加入することも含め対応を検討すべきと思うが見解を伺う。

消防長 保険については、加入をしたいと考えております。

AEDの設置拡大 について

質問 24時間365日使えるAEDを1台でも増やす事が大事である。市が交番にAEDを貸し出す

取組みや、屋外収納ボックスの中にAEDを入れて対応するなど考えられるが取組みについて伺う。

健康福祉部長 設置運営上の課題が多いので調査研究が必要であると考えております。

家庭用雨水貯留タンク 設置について

質問 雨水利用は捨てれば洪水、溜めれば資源となる、自己水源を確保することで、断水時ばかりでなく環境工コ対策と日ごろから活用する事が出来る。家庭用雨水貯留タンク設置費用助成金の導入について見解を伺う。

市民生活部長 今後それらを踏まえ調査研究して参ります。



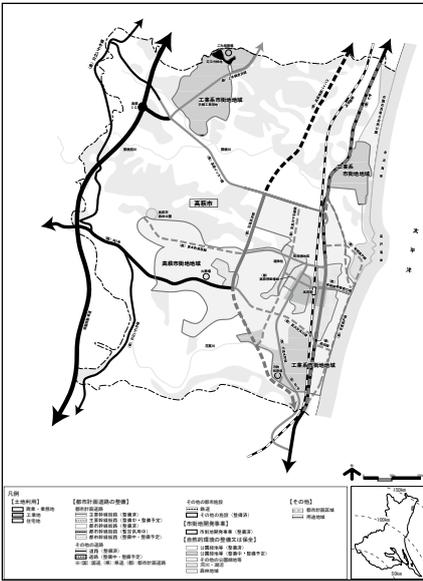
©NEW KOMETTO



吉川道隆 議員

高萩市都市計画道路
石滝赤浜線について

質問 都市計画道路の見直しによると国道461号線と交差した先から十王に延びる部分の計画では、安良川のイオンとゲオの間のT字路につき、石滝の明秀高校のキャンパスに上がることになっているが、現在の道路につなげるのではなく、そのまま山側にまっすぐ進ませる道路を建設、日立北インターにつなげるほうが防災の復興事業となると思うが、どうか。産業建設部長 十分な協議を重ねた結果、現道である県道高萩友部線を利用して整備を進める案が事業の早期実現を図る上で最も有効であると考えられた。新規路線の整備については周辺道路の進展状況を見据えながら市と協議していきたい。



高萩都市計画区域マスタープラン 附図

緊急体制について

質問 春日町の火災の際に119番通報は直接高萩消防署につながるのでなく、水戸の消防指令センターにつながることは知らずに、情報伝達がうまくいかなかった。通報の仕方を市民に周知する対策はされているのか。

消防長 119番の通報の仕方について市のホームページに周知広報はしているが、今後も周知等を図っていきたい。

質問 消火方法についてマニュアルはあるのか。火災経験の少ない消防士、消防団員に対する教育が徹底されているか。

消防長 訓練では現場を想定して反復訓練を実施している。消防学校に警防科という課程に入校し、それをもとに勉強会をしている。

団員の方にもスキル修得のために消防団員の幹部会議、各分団で分団長を中心として訓練を実施している。

議会報告会を
開催しました

4月23日(土)・24日(日)の2日間にわたり、議員が3つの班に分かれて市内6会場で、議会報告会を開催しました。

高萩市議会では、平成26年3月に議会基本条例を制定し、議会報告会を平成26年度から計3回、18会場で開催してきました。

議会報告会は、市民の皆様にご報告の状況や、市政に関する情報をお知らせして、皆様の関心や意見をお聞きするために開催するものです。

今回の内容は、3月定例会で市長から提出された平成28年度の各会計の新年度予算や条例等について説明し、その後意見交換を行いました。また、報告会終了後すぐに、いただいた意見に関する現地調査まで行った班もありました。いただいた意見のうち行政に関するものは市執行部へ提出しました。

なお、当日は各会場で、たかはぎFMが録音し、翌週放送しました。



上君田生活改善センター



駒木原集会所



大能生活改善センター

委員会視察報告

◆文教厚生委員会◆

5月10日～5月12日

○宮崎県日向市

- ・ごみ分別アプリについて
- ・家庭ごみ組成調査について
- 鹿児島県志布志市
- ・ごみのリサイクルについて
- ・一般廃棄物処理計画について



日向市での視察

日向市は、家庭ごみ組成調査を行っており、地域から排出される家庭ごみの組成を調査し、排出実態からみたごみの減量化、資源化の可能性を検証しながら、一般廃

棄物処理計画等の基礎資料を得、市が処理する家庭系「燃やせるごみ」の実態調査分析を細かく行い「平成20年度日向市ごみ処理実施計画」が策定されている。

志布志市は、再資源化率9年連続日本一となっており「志布志市モデル」は焼却なしでごみを分別し、埋め立てごみを減らす、市民と行政の「共生・協働の取組みモデル」である。当初、市民からはかなりの反対があった29品目の分別は大変な作業であるが、職員の熱心な啓蒙活動により、今では市民も分別の必要性を認識し、やる

ことが当たり前とした地域コミュニケーションがしっかりと形成されている。



志布志市での視察

◆総務産業委員会◆

6月29日～7月1日

○北海道岩見沢市

- ・「岩見沢市観光振興ビジョン」について
- ・観光協会法人化の経緯と協力関係について
- 北海道ニセコ町
- ・財政危機突破計画について
- ・地域おこし協力隊について



岩見沢市での視察

岩見沢市は、新千歳空港や札幌市から自動車で1時間程とアクセスがよく、冬季は市街地積雪が2m以上にも関わらず、年間一〇〇万人を超える観光客が訪れている。平成23年に岩見沢市観光振興ビジョンを策定し、観光資源を「たから」として市民や関係者

が一体となり、地域経済の活性化に取組んでいる。観光協会（法人）も、平成28年度の岩見沢市観光振興戦略の策定を契機に体質強化（JTBとの連携等）を図り、観光を総合的にプロデュースできる組織を目指しています。

ニセコ町は、明治27年頃から厳しい開拓時代を経て、ブランド「ニセコ」が完成した。産業別割合は、一次産業が21%、三次産業が69%で農業と観光が主産業である。米の品種改良に伴う稲作と、近年外国人観光の増加で年間を通して観光事業が充実している。平成12年に成立した「ニセコ町まちづくり基本条例」により情報の共有と住民参加によるコンパクトシティが形成された。



ニセコ町での視察

政務活動費の支出状況

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に役立てるため必要な経費の一部として、議員に対して交付されるものです。高萩市議会議員には、一人当たり月額1万円が、年度当初の4月に1年分12万円が交付されます。各議員は、毎年領収書を添付し収支報告書を議長に提出し残額は市に返還します。

なお、収支報告書は議会事務局で閲覧できます。

氏名	支出額							交付額
	調査研究費	研修費	広報費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	
我妻康伸								0
飯田毅昭			26,124			9,876	84,000	120,000
大足光司			34,560	9,000	18,332	30,594	7,221	99,707
大森要二						86,107		86,107
田所和雄		10,440				73,604	1,004	85,048
菊地正芳			19,656		18,705	35,880	45,759	120,000
吉川道隆			120,000					120,000
今川敏宏						53,316	66,684	120,000
作山里美			114,000			6,000		120,000
平正三			120,000					120,000
寺岡七郎			25,000			33,923	61,077	120,000
篠原新一郎						82,164	37,836	120,000
新議員(4か月分)								
根本茂							40,000	40,000
坪和久男		40,000						40,000
渡辺悦夫							40,000	40,000
八木陽子		40,000						40,000
前議員(8か月分)								
小宅誠	5,000		25,000			31,422	18,578	80,000
岩倉幹良			80,000					80,000
鈴木英樹					26,789	29,520	22,555	80,000
矢代洋三						79,008	992	80,000



7月4日
 進捗状況について
 免震装置を前に



美浦村議場での研修

6月24日
 タブレット端末を用いた
 議会運営について
 第2回定例会において議決し、議員の派遣が決定した2件の調査研修について実施しました。

議員派遣・視察

議会日誌

- 5月 17日 議会運営委員会
- 20日 議会全員協議会
- 25日 議会運営委員会
- 26日 議会全員協議会
- 31日 第92回全国市議会議長会定期総会

- 6月 1日 市議会議員共済会
- 3～15日 第2回定例会
- 15日 議会広報委員会
- 7月 5・6日 茨城県市議会議長会視察研修会

- 7月 13日 議会広報委員会 (栃木県足利市)
- 14日 香川県綾川町 行政視察(来庁)
- 20日 議会全員協議会
- 21日 総務産業委員会
- 25日 議会広報委員会
- 宮城県岩沼市行政視察 (来庁)

秋山 32歳 女性

私は生まれてからずっと高萩に住みこの町で子育てをしています。

働いているので子どもは2人とも市内の保育園にお世話になりました。待機せず保育園に入れたことは大変助かりました。市と園との連携も密で市に申し入れたことも直ぐ対応してくださいました。また、子育ての不安や疑問も、相談窓口で親身に話を聞いていただき、具体的な対策や日頃の愚痴まで聞いて下さり、とても心強く安心しました。相談してよかったと心から思いました。

働きながらの子育ては時間に追われ、楽しいはずがふと辛いことに感じてしまう瞬間は私だけではないと思います。そんな時相談窓口があることや、子育て支援は大変助かります。

今から8年前のことですが、私用で子供を連れて市役所を訪れたとき、初対面の職員の方に

「上手に子育てされてますね。お母さんががんばっていますね。」と声をかけて頂いたことがあります。その一言が当時はすごくうれしく自信が持てたことを覚えています。このように職員の積極的な声掛けに好意を持ち親しみを感じる方も多いと思います。

高萩市はとても子育てしやすい街です。お願いですが、子どもが中心のイベントを考えていただけないでしょうか。夏ならではのウォーターフェスのようなイベントでしたらけがすることもなく、子どもたちは大はしゃぎできるのではないかと思います。是非お考えください。



傍聴においでください

第3回定例会(9月)予定

- 9月2日(金) 本会議 議案上程
- 5日(月) 本会議 一般質問
- 6日(火) 本会議 一般質問
- 8日(木) 本会議 議案質疑
- 9日(金) 文教厚生委員会
- 12日(月) 総務産業委員会
- 13日(火) 決算特別委員会
- 14日(水) 決算特別委員会
- 16日(金) 本会議 採決

※日程等が変更になることがあります。
※インターネット・たかはぎFMでも放送します。

永年勤続議員表彰



全国市議会議長会において、議長在職4年・議員在職15年として吉川道隆議員、在職20年特別表彰として鈴木英樹前議員、茨城県市議会議長会総会において議員在職8年として田所和雄議長、大森要二議員、大足光司議員が表彰されました。

発行 高萩市議会
〒318-1851
茨城県高萩市春日町3-10-16
電話(0293)23-5373 FAX(0293)24-4294

議会広報委員会

- 委員長 飯田 毅
- 副委員長 我妻 康伸
- 委員 今川 敏宏
- 八木 陽子
- 渡辺 悦夫
- 根和 久茂
- 坪本 茂

(八木 陽子記)



暑さきびしき折、市民の皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。
議会広報委員会は新人の方を迎え、新鮮と経験を盛り込み編集に取り組んでおります。この議会だよりが市民の皆様の声を市政に反映させる足がかりとなるよう、理解が深まればと思います。
地方再生の政策もすぐには結果が出るものではありませんが、足元から着実に街の発展につながるよう、議員一丸となって更に努力してまいります。

編集後記